

「多文化共生社会の実現と社会福祉の役割」 Zoomセミナー

多文化共生社会の実現を目指して
～多文化共生の意識を持つことの施設・法人への効果～

堀 永乃（一般社団法人グローバル人財サポート浜松）

自己紹介

一般社団法人グローバル人財サポート浜松代表理事。
企業勤務の傍らボランティア活動を経て、2001年より
（公財）浜松国際交流協会で日本語教育や交流等の事業の企画と運営に携わる。リーマンショック後は在住外国人の就労支援に取り組み、2011年にグローバル人財サポート浜松を立ち上げる。現在、外国人の介護職員初任者研修や企業内日本語教育、大学生を対象にした次世代育成を行う。このほか全国の自治体、国際交流協会等での研修や講演も行う。2018年国際交流基金「地球市民賞」受賞。主な著書は外国人のための介護研修用教材「介護のしごと」（日本医療企画）。日本大学非常勤講師、認定キャリアコンサルタント。



法人設立のきっかけは、浜松市の外国人定住者の高齡化と介護の必要性に気づいたこと

- 外国人人口のうち、65歳以上の外国人
801人（平成28年4月1日）
868人（平成29年4月1日）
932人（平成30年4月1日） 外国人住民23,145人
- 外国人市民のうち、介護認定を受けている人数
平成28年 88人
平成29年 97人
平成30年 104人

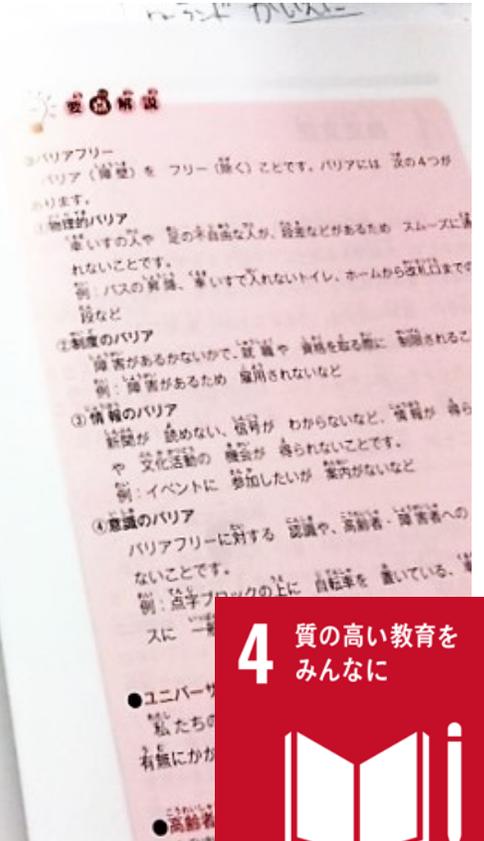
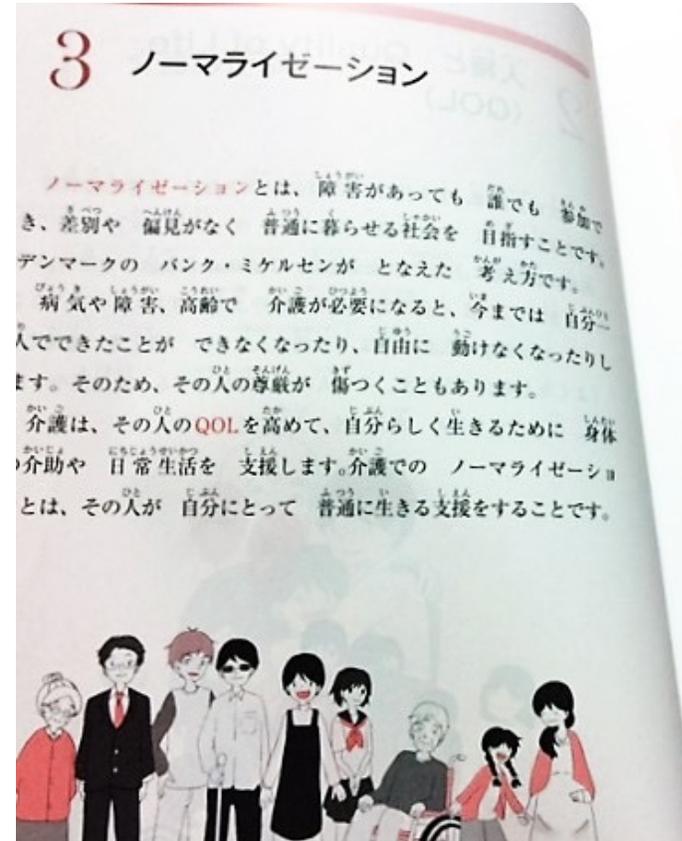
→グローバル人材サポート浜松を立ち上げる！



外国人介護人材の育成



オリジナルテキストの開発



外国人の長所を生かして活躍する社会を



8 働きがいも
経済成長も

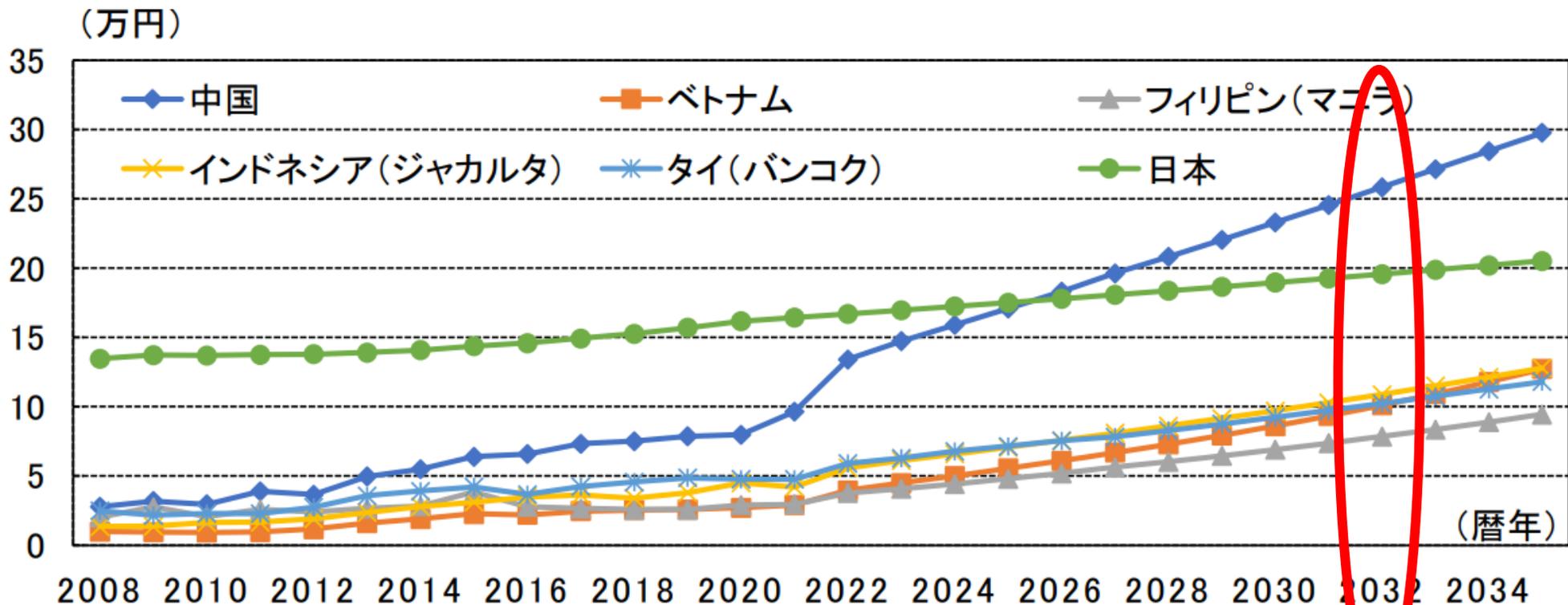


10 人や国の不平等
をなくそう



「日本」は、アジアの若者たちに
選ばれる国だと思っていますか？

アジア諸国からの出稼ぎ労働者は2032年に頭打ちに



(注)一般工員の月給。22年以降は日本経済研究センター試算。

(資料)ジェトロ『アジア主要都市の投資コスト比較』

出典：日本経済研究センター「アジア中期経済予測」(2022)より



フィリピンのSNSより



Japan Specified Skill Visa for Caregiver, and others

11月15日 20:45 · 🌐

2019年の円からペソ価値は49.00くらいだったが、2023年は36.00くらいまで下がった。

日本で働くことを計画しているOFWは、その価値があるか今かよく考える必要があります。



国際レベルで人材獲得競争が進んでいる

- フィリピン 12時間/日ー800~1,200ペソ(約3,000円)
(為替10,000円→3769.40ペソ(11月19日現在))
- オーストラリア 時給3,200円
- ニュージーランド 時給3,000円
- ドバイ 月給2,400USD (約35万円)
- 日本 時給1,200円



日本の人気は「安全」と「国民性」

- 日本は「安全」です。そして、町がきれいです。人も優しいです。
- 私は、アニメで日本を好きになりました。
- 日本の「文化」が好きです。日本料理もおいしいです。
- 日本人はまじめです。技術が高いですし、学ぶ価値があります。

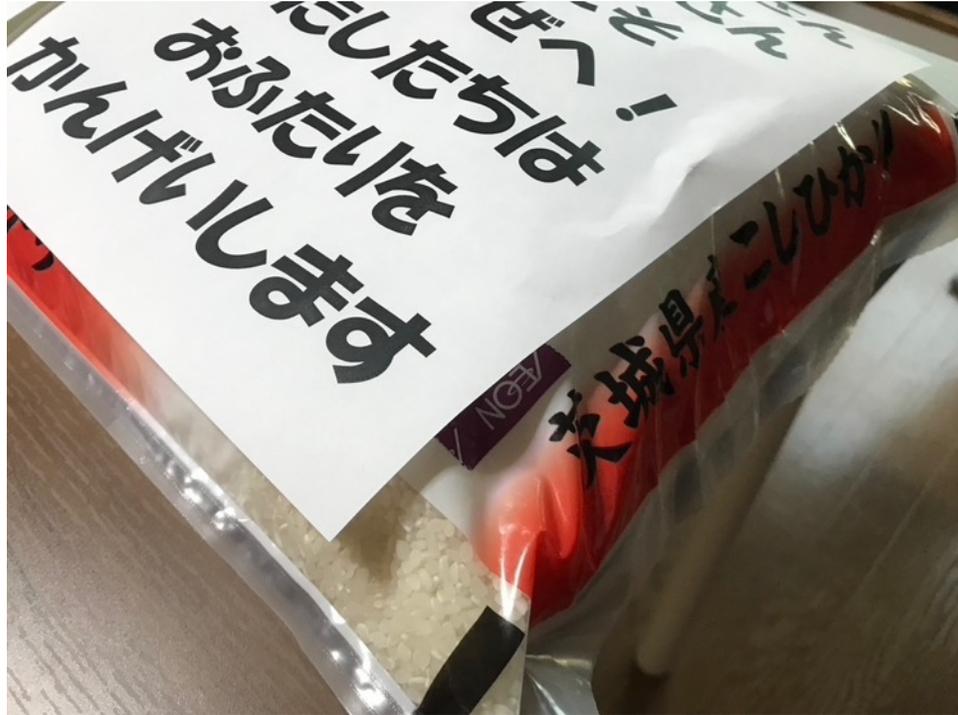


多文化共生 = ノーマライゼーション

- 「同僚は「外国人」」 <受容>
- 異文化接触→異文化理解、リアリティショック <共感>
- わかりやすい日本語を使う <工夫>
- 「面倒」と思うことは緊急度が高い <後回しはトラブルのもと>
- 外国人も活躍できる = 日本人にとって有益な職場となる



施設の工夫



thank you for your hard work.

As you may be aware from the recent circular, two people, Grace, will be joining the nursing care profession with special permission on November 1st. The two of them have left their families behind and I think they may feel lonely at times, so I would like to interact with them so that they can get used to life in Japan. I would like you to give me various information (delicious food information, etc.) so that I can live happily.

The two of them have studied nursing care in the Philippines but have almost no experience. Also, although I have an English language qualification, it is different from the Japanese language used by foreign residents who have worked at Mizuumi up until now. I decided to hire them because I strongly felt their earnest attitude toward learning and their desire to work.

Nursing care is human to human. No one is perfect, but working together is best when we accept each other, support each other, and complement each other. This time, two new people will be joining. I would like them to recognize their seriousness, hard work, and to make up for their lack of Japanese and other skills.

Recently, many facilities are hiring foreigners. Just the other day, a public relations magazine for another facility about hiring foreigners was published. You can see that he is working hard and getting help from the senior staff around him, so please take

I would like to thank Mr. Igdanes and Ms. Grace from the Philippines for teaching me slowly and steadily without rushing. If you have any problems or suggestions, please let me know.

For reference when interacting with two people in the Philippines, I attached a diary that shows the current Japanese level of the Philippines. Attached is: "A diary that shows the current Japanese level of the Philippines" from another facility.



効果：外国人ワーカーが働きがいを見出す



介護をする人に「違い」はない



当法人の施設サポート体制の一例



- 事業所と入管とのネットワーク会議を開催
- 現地フィリピンの大学と業務締結し人材育成を行う
- 優良な事業所に優秀な人材を提供できる仕組み
- 海外も同じ一ツフィールドで中長期滞在者を循環させる人材環流型の雇用体型へ
- 百聞は一見にしかず

